

## 社会教育施設の設備や資料の活用を

社会教育施設のはたらきを充実させるためにどのようなことに力をいれるかとの問いについて選択された結果は、次のとおりとなりました。

### ○公民館

「各種講座や教室などの学習機会の充実」、「施設や設備の充実」

### ○図書館

「施設の利用時間や開館日の拡大」、「資料収集の充実」、「情報提供の充実」

### ○森林工芸館（どま工房）

「専門職員・指導者の充実」、「情報提供の充実」、「施設や設備の充実」、「各種講座や教室などの学習機会の充実」

### ○体育施設

「専門職員・指導者の充実」、「施設や設備の充実」、「施設の利用時間や開館日の拡大」

その他の意見としては、「現状のままで十分充実している」などの意見がある一方、放課後児童クラブ「くるみの会」の施設の老朽化対策や秋岡コレクションの活用などの意見もありました。



秋岡コレクションの展示

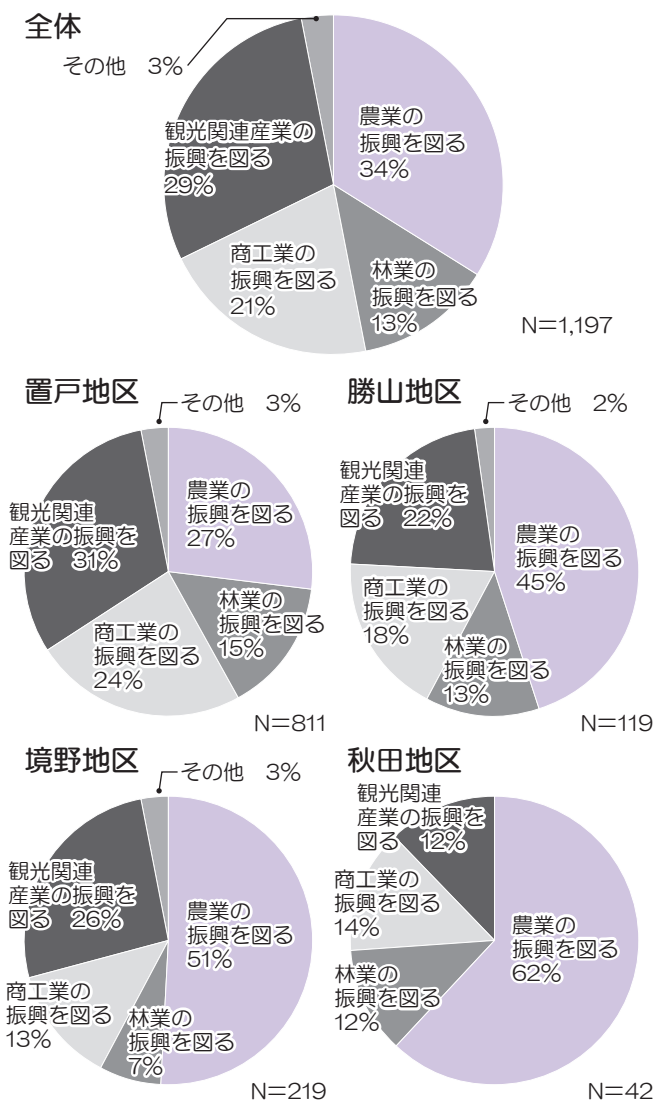
## おけとの産業振興の方向性は

産業振興の方向性についてどのように考えるかとの問いについては、10年前の今回の調査と比較すると、農業に関する割合が減少し、商工業と観光関連の割合が増加しています。林業に関してはほぼ同じ割合です。

地区別に見ると、置戸地区以外では、「農業の振興を図る」がおおむね半数の割合となっています。置戸地区では「観光関連産業の振興を図る」が最も多く31%の割合を占め、境野地区でも同選択項目が26%となっています。

その他の意見としては、「すべての分野の振興を図る」といった意見や「企業誘致」、「新たな産業の創出」などの意見もありました。

## 〈今後の町の産業振興の方向性について〉



今後の産業振興に何が大切だと考えるかとの問いには、「後継者の育成や確保」が全体で最も多く45%、次に「地域物産や特産品の開発、販売促進」が35%、「新たな企業誘致や育成」が25%となっています。産業振興の全ての分野で「後継者の育成や確保」の割合が高く、各産業に共通した課題であることがわかります。

その他の意見としては、「スポーツ施設を整備し置戸を利用してもらう」や「置戸独自の産業の創出」などがありました。



タマネギの定植作業